

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		木材需要拡大推進事業			事業コード	0673
担当課等	所属名	農林部 林政課		担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	吉田 敬二	電話番号	6053

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 2目 木材需要拡大推進事業 (019-01)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	<p>長期的な国産材需要や木材価格が低迷してきた中、森林所有者の施業意欲の低下により、適切な森林施業が実行されない等の状況がみられるほか、林業就業者の減少・高齢化が進み、弱体化した林業・木材産業の回復は遅れており、森林の持つ機能の低下も危惧されることから、地域材の利用促進により森林資源の循環利用と林業生産活動の活性化を図るため、民間からの意見や盛岡市木材利用拡大推進会議により、様々な木材需要施策を展開使用とするもの。</p>					
根拠法令等	森林・林業基本法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>人工林資源が充実してきている一方で、木材価格の低迷等の理由から間伐が進まず、森林の機能低下が危惧されている。こうしたもて、間伐の推進を強化し、森林資源の循環と林業の活性化を図る必要がある。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>林業振興審議会等で市産材の利用拡大とそのPRをすすめて欲しいとの意見が出ている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>木材価格の低迷により、森林の手入れや伐採が進まないという状況がある一方で、環境及び産業の面から森林・林業が国の重要な施策として位置づけられて来ており、支援制度が新たに構築されてきている。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	民有林	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 間伐材発生量 B. C.	単位 単位 単位	m3
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <p>① 「木材利用推進方針」に基づき、市営建設工事等においては市産材の利用を基本とすることとし、関係課にその徹底を依頼した。</p> <p>② 行政及び森林組合、民間の林業関係者などで構成する盛岡市木材流通推進会議を開催し、具体的な市産材利用拡大にむけた検討を進めた。</p> <p>③ 公共施設等への市産材の活用について関係課等(盛岡市)を対象に研修会を行った(盛岡地域バイオマス利用促進研修会として北上川上流流域森林・林業活性化センターと共催で行う)。</p> <p>④ 市産材利用PRとして、町内会等に、市産材を支給し木製のゴミステーションやベンチを設置した。</p> <p>⑤ 市産材ブランドの推進にむけて、自主的に結成された市産材ブランドグループ(盛岡の森と住まいを考える会)の事業に対して支援を行なった。事業として、建築現場等の見学会が行なわれた。</p> <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>① 木材利用推進会議の開催 ・公共工事等における市産材の利用推進</p> <p>② 盛岡市木材流通推進会議の開催 ・市産材流通推進アクションプランの推進</p> <p>③ 市産材のブランド化を進める。 ・盛岡市の森と住まいを考える会への支援</p> <p>④ 市産材支給事業の実施</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 地域材利用量 B. C.	単位 単位 単位	m3
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	森林資源の循環を促進し、林業の活性化と森林機能の維持増進を図るもの。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 地域材利用量/間伐材発生量 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 単位	%

			C. 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果 指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	間伐材発生量	m3	7500	7500	7500	7500	7500	7500	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	地域材利用量	m3	1566	3237	3000	1357	3000	3000	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	地域材利用量／間伐材発生量	%	28.88	43.16	40	18.09	40	40	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	87	92	152	54	137	137	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	87	92	152	54	137	137	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	87	92	152	54	137	137	*****
	延べ業務時間数	時間	164						*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	656	0	0	0	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	743	92	152	54	137	137	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 木材の需要拡大は森林・林業の活性化につながる
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 「森林の手入れ」への支援だけでは、現在の低迷した森林・林業の現状を打開できない。民間の自助努力だけでは限界がある
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 国有林には関与できない
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 現在の森林・林業の情勢から急務となっている課題がある。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 市産材(地元材)の利用推進のための施策や事業を展開することによって、森林資源の循環と森林・林業の活性化につながる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 森林・林業の停滞を打開する推進力が低下する。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国, 県, 市の内部, 民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 地元材の利用促進を図るうえで、さらなる支援事業が必要であり現状では不足している状況である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 低迷している森林・林業の現状を変えていくうえで、様々な点から施策の展開が必要であり、現行の体制で削減する余裕はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 森林所有者, 素材生産者, 製材業者, 市民等全てに関連する事業である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 停滞している森林・林業の状況から、積極的な支援策を打ち出すことがむしろ必要である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 地域の林業の振興のためには、地域材の利用促進が不可欠であり、この事業への期待は大きい。市産材住宅への支援など、さらにこの事業を充実していく必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 林業振興を図るうえで、木材価格の低迷、林業後継者の問題等があり、国、地方自治体を含めて抜本的な支援制度が求められているが、メニューが多岐にわたりかつ複雑という問題がある。森林組合を強化していくということにあわせて、振興局と連携して具体策を検討していく必要がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>徐々にではあるが、市内部において木材を利用することが定着し始めている。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
							
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>木材関係者と連携を図りながら、市として、又は協同で実施できるものなど、木材の需要拡大に向け、様々な対策を打ち出していくものとする。</p>							